

# 分析結果報告書〔1～4〕（共通） 1 / 2

## 1. 0 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：検液（溶出液）の作成）

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001～9003 2. ISO/IEC 17025(か <sup>o</sup> ト <sup>o</sup> 25) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. (上記1～4を取得していないが)品質マネジメントシステム(QMS)を構築している
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	( ) 年
分析主担当者の実績 (年間の分析試料数)	( )
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1. あり 2. なし

< 3回の併行のために下記の<試料液の調製>以降は1～3回で概略同様であり、1回目の条件を記入する >

### <試料の保存状況>

保存方法	1. 冷暗所保存 2. 保存しない（直ちに分析） 3. その他（ )
保存時間 注1)	約 ( ) 時間
保存温度	約 ( ) ℃

注1) 時間単位で記入する（例えば、60分では1時間、4日では96時間とする）。

### <溶出操作等>

検液の作成開始月日	月	日	
検液の作成終了月日	月	日	

### <試料液の調製>

容器	種類	1. ポリエチレン瓶 2. ガラス瓶 3. その他 ( )
	容量	( ) mL
試料（ばいじん）	量	( ) g
溶媒（水）	種類	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他 ( )
	量	( ) mL

### <試料液の調製>

試料液の調製から溶出操作（振とう）までの放置時間	( ) 時間 注2)
--------------------------	------------

注2) 試料液の調製後直ちに振とうした場合には0（ゼロ）時間とする。  
時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。

### <溶出操作>

容器	置き方 振とう方向	1. 横置き 2. 縦置き 3. その他 ( ) 1. 水平 2. その他 ( )
気温		( ) ℃ 注3)
気圧		( ) 気圧 注3)
振とう機	振とう回数	( ) 回/分
	振とう幅	( ) cm
	振とう時間	1. 6時間連続振とう 2. その他 ( )

注3) 振とう開始時の気温（室温）、気圧は概略値を記入する。

### <振とう後の放置時間>

振とう終了からろ過（又は遠心分離）までの放置時間	( ) 時間 注4)
--------------------------	------------

注4) 振とう後直ちにろ過した場合には0（ゼロ）時間とする。  
時間単位で記入する（例えば、30分では0.5時間とする）。

